

ROTARY CLUB
ITOIGAWA



2018~2019年度

糸魚川

Rotary: BE THE INSPIRATION
ロータリー: インスピレーションになろう



週報号外

会 長	猪 又 一 義	クラブ会報雑誌	齊 藤 正 明
例 会 場	糸魚川信用組合本店	Tel.552-9880 (呼出)	
例 会 日	毎週木曜日	12:30~13:30	
創 立	1960. 9. 10	承 認	1960. 10. 12
事 務 局	新潟県糸魚川市寺町	糸魚川商工会議所内	Te (025)552-1225
糸魚川RC	HP http://itoigawa-rc.jp	第2560地区HP	http://www.rid2560nikata.jp

整理：クラブ奉仕委員会

糸魚川市消防 出初め式

糸魚川駅 南アルプス口 2019/1/6 9:30~



2019.01.06

糸魚川RC幹事 齊藤直文様（消防団長）防災減災害に尽力！



2019.01.06

地域防災力の強化へ

消防出初め式 大火の教訓生かし

団員169人、消防職員58人と車両計34台が出動。駅前広場の中央に設けた火点に向かって市道側から団員

が消火ホースを構え、駅側から消防署の屈折式はしご車が高所で備え、雪が降る中、一斉に勢いよく水を放った。地元の中央区は、地域の防災力を高めるため配備された女性や高齢者にも扱いやすい40リットルホースを使って参加した。同市在住の松田宙眞(ひろま)君(4)は「かっこ良かった。僕も消防士になりたい」とうれしそうに見ていた。一緒に

見学した母親と祖母も「二度と火災を起こしてもらいたくない。昔の街並みを忘れたくない」としみじみ話した。

同市民会館で行われた式典で米田徹市長は、消防水利の整備や40リットルホースの導入、消防団市役所分団の発足など「大火に負けない消防力強化」への取り組みを挙げ、「災害に強いまちづくり、復興復旧に努めるためには地域の総力を結集し防災力の充実、強化を目指していかなければならない」と述べた。

齊藤直文団長は過去に経験のない災害が起

糸魚川市

糸魚川市消防出初め式が6日に実施され、同市消防団と消防本部、市内中央区民による一斉放水が糸魚川駅アルプス口(南口)前で行われた。家族連れなど市民が見守り、2年前の駅北大火を教訓に無火災、無災害の平穏な一年であるよう願った。

この近年の状況を踏まえ、「いかなる事態にも対応できるよう各関係機関と連携して防災、減災に努めていく」と、地域防災の中心核として新たに気を引き締めた。

同日は出初め式に先立ち、こども消防隊(隊員53人)による防火PRや消火器、放水体験車を使った初期消火訓練も披露された。

同市消防本部管内の昨年の火災発生件数は建物火災4件、その他火災2件。火災による負傷者が2人だった。



無火災、無災害の平穏な年を願って寒空の下で一斉放水が行われた(糸魚川駅アルプス口前)

点検者 丸山 幸三 市消防長 ・ 齊藤 直文 市消防団長 ・ 米田 徹 市長



団旗を先頭に威風堂々 団員の行進、出動各消防車両が続いた観閲行進

